

巨大地震を生き抜く力

Vol. 2

地域の安全への貢献

私たちは
防災サポーター

地域に貢献できることを考え、発信しましょう!

協力分野	ここがポイント!	あなたの会社ではどんな協力ができますか? (協力可能な項目は□にチェックしてください)
平常時の取り組み	災害時に地域と協力・連携していくためには、合同で防災訓練を行ったり、地域行事に参加するなど、普段から交流を深めることが重要です。	<input type="checkbox"/> 地域防災訓練への参加 <input type="checkbox"/> 消防団への入団 <input type="checkbox"/> 地域の祭りや行事への参加 <input type="checkbox"/> 行政や地域との防災協定の締結
初期対応	大規模な災害が発生した直後は、消防などの行政による救助活動だけでは対応しきれず、住民や企業における「自助」「共助」の取り組みが極めて重要です。	<input type="checkbox"/> 救出・救助活動への支援 <input type="checkbox"/> 避難誘導や避難活動への支援 <input type="checkbox"/> 初期消火活動への協力 <input type="checkbox"/> 臨時炊き出し所の開設・運営支援
生活物資供給	日常の業務で取り扱っている生活物資を救援物資として提供することにより、被災者の避難生活を支援することができます。	<input type="checkbox"/> 食料・飲料水の提供 <input type="checkbox"/> 応急医薬品の提供 <input type="checkbox"/> 洗面・入浴用品の提供 <input type="checkbox"/> 簡易トイレの提供
復旧・復興関連の協力	緊急対応が必要な建設・土木技術や医療技術、運搬の技術、情報伝達技術など、さまざまな場面で専門知識や技術を役立てることができます。	<input type="checkbox"/> 建築・土木職員の派遣 <input type="checkbox"/> 重機・重機操作員の派遣 <input type="checkbox"/> 情報収集・伝達への支援 <input type="checkbox"/> トラック・バイクによる物資輸送
車両・大型資機材・資源の提供	自社で保有している車両や重機、資機材などの提供は、物資輸送や障害物の撤去などに大きな力を発揮することができます。	<input type="checkbox"/> 中・大型発電機や照明器具、消防資機材の提供 <input type="checkbox"/> 井戸やテントの提供 <input type="checkbox"/> 建設機器材の提供(パワーショベル、フォークリフト等)
敷地や建物の提供	緊急時に、企業活動に支障のない範囲で、敷地や建物を一時的に近隣住民へ提供することにより、地域への貢献ができます。	<input type="checkbox"/> 社屋の一部を津波避難施設として提供 <input type="checkbox"/> 駐車場を避難地として提供 <input type="checkbox"/> 駐車場を仮設トイレ設置場所として提供 <input type="checkbox"/> 駐車場を物資の集積や配送地として提供
作業ボランティアの実施	避難所運営支援や被災地支援を行う作業ボランティアとして、従業員を派遣することにより、企業の組織力が効果的に発揮されます。	<input type="checkbox"/> 避難所における運営支援 <input type="checkbox"/> 被災者への軽運動指導やレクリエーションの実施 <input type="checkbox"/> 被災地清掃支援 <input type="checkbox"/> 物資仕分け・配布要員の派遣
専門ボランティアの実施	被災地のニーズに合わせ、企業に所属する特別な資格や能力を持つ人材を派遣することにより、被災地支援に大きな役割を果たします。	<input type="checkbox"/> 応急危険度判定士の派遣 <input type="checkbox"/> 通訳ボランティア <input type="checkbox"/> 介護ボランティア

あなたの会社ではいくつチェックができましたか? より多くの地域貢献活動に参画してください!
地域貢献活動は、地域の防災力を高めるだけでなく、地域との信頼関係を深めます。

地域貢献活動に関する相談やお問い合わせ先: 各市町の防災担当窓口まで

これら以外でも
あなたの会社で
協力できることを積極的に
考えてみてください!

自らの企業生命は自ら守る

社会福祉法人誠信会 特別養護老人ホーム 富士楽寿園

災害弱者の高齢者、 そして共に生きる地域の人々のために。 助け合いの防災協定を結ぶ。

富士楽寿園は、社会福祉法人誠信会が事業運営する特別養護老人ホームである。誠信会の各部門(児童・障害・介護)からなる危機管理委員会では、施設ごとの防災対策のみならず、非常時に地元行政や所在地域の人たちと協力・連携して助け合う取り組みをすすめている。



富士楽寿園 副施設長 柴田 誠氏



地域との防災協定に基づく避難所運営マニュアルを作成

富士市と災害弱者受入れの協定を締結

当園は数年前より富士市と“大規模災害時における相互応援協定”を結んでいます。この協定は、大規模地震が起きた時、当園を高齢者受入れの福祉避難所に指定するというものです。

要介護の高齢者にとって体育館など一次避難所での生活は大変です。特に車イスが必要な方や認知症の方は、環境の変化に対応することが難しく、医療サポートも十分に受けられません。入所者の6割以上が車イスを使用し、認知症の方の支援もしている当園の職員なら、培った介護のスキルや避難誘導訓練の経験を活かして、安全かつ適切に対処することができます。

災害時には、受入れ可能な人数を富士市に連絡します。富士市認可の緊急通行車両があるので、これをフルに使って対応します。また、停電でも使用できる MCA 無線、衛星回線ネットなどの通信設備も非常時に役立つでしょう。



社会福祉法人誠信会 特別養護老人ホーム 富士楽寿園

昭和50年6月、富士市初の特別養護老人ホームとして施設認可を受ける。利用定員53名、ショート4名。入所者は在宅での生活が困難な要介護の高齢者であるため、毎月1回、日中と夜間想定で避難誘導訓練を行なっている。
■ 富士市大淵 4632-1 ■ ☎0545-35-0498

協力を得ながらさらに実効性のあるものにする必要があります。最も大切なのは、住民の方たちと日頃から情報を交換し、地域合同での防災訓練を行い、協力体制を作り上げていくことです。

当園の敷地内には井戸水があり、3基のタンクに合計360tの水を貯めることができます。また、緊急用の浄水装置も用意しています。さらに食糧の備蓄が2週間分、テントも10張以上あります。大規模地震が起きたら、これらを地域の方たちに使ってもらい、力を合わせて災害に立ち向かいたいと思います。



特注製作の緊急用浄水装置。年に一度、作動させて職員に使い方を教えている

地域との連携を深め危機を乗り越える

当園は、近隣の町内会、自主防災会、林野消防隊とも防災協定を結んでいます。避難所運営マニュアルも策定済みですが、今後、地域の方々の

消防団協力事業所表示制度

消防団活動を通じて、あなたの会社も地域貢献!

消防団員は、普段は別の職業を持ちながら活動をしています。しかし、少子高齢化や社会環境の変化によって団員数は年々減り続けています。消防団協力事業所表示制度は、勤務時間中の消防活動への便宜や従業員への入団促進など、事業所の消防団活動に対する協力を社会貢献として認める制度です。あなたの事業所でも、この制度に登録し、信頼性を高めると共に、地域の防災体制の向上に貢献しましょう。



認定を受けた事業所には県税の特例が!

「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例」により、事業税額の2分の1相当の額が控除(最大10万円)されます。

お問い合わせ 静岡県危機管理部消防保安課 ☎054-221-2073



消防団協力事業所として認められた事業所は、表示証を社屋に掲示できます。表示証マークは自社ホームページで公表することもできます。

防災トピックス 停電時はロウソクよりもLED! ロウソクの灯は弱く、部屋全体を照らすには役不足。また二次災害を引き起こした例もあります。LEDランタンは、ロウソクより明るく消費電力も少なく、また火災の心配もありません。ぜひ乾電池と一緒に常備しておきましょう。

地域との連携強化で、災害に強い街を目指しましょう！

企業は「防災協働社会」の一員です！

過去の災害教訓から、大規模な災害が発生した直後は、消防・警察・自衛隊などの行政による救助活動だけでは対応しきれません。住民や企業における「自助」「共助」の取り組みが極めて重要です。「防災協働社会」を構築するため、企業は社会の一員として、住民、地域、行政と連携・協力しながら、その担うべき役割(自助・共助)を果たし、社会としての防災力を高めることが求められています。



地域組織との連携

地域との連携・協力の第一歩は日頃の付き合いです。祭りや清掃活動に参加して交流を深めることが大切です。防災訓練に取り組んだり消防団に加入するなど、地域の防災活動も積極的に行ないましょう。



企業同士の連携

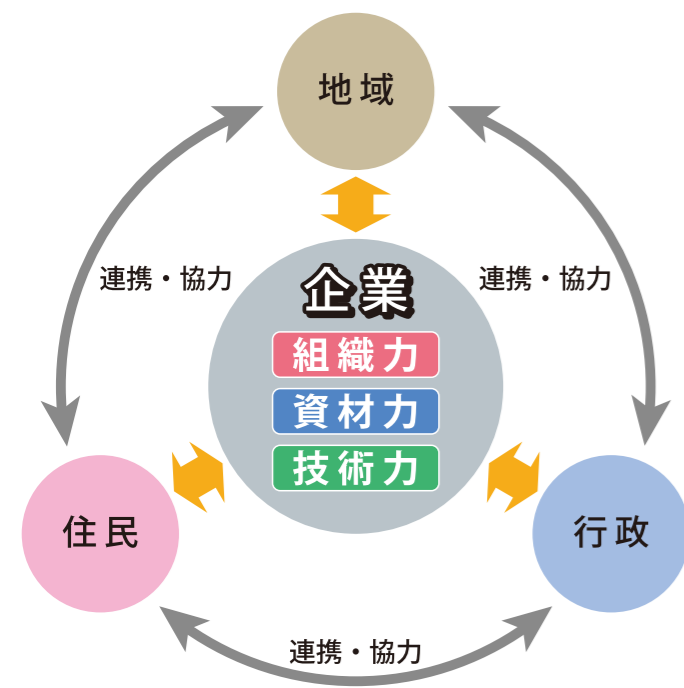
企業が相互に協力・連携すれば、避難場所(避難地や避難所)確保・共同備蓄など広範囲で充実した防災対策ができます。多くの人手が必要となる応急活動や復旧活動には、取引先協定などで万全の備えをします。



企業の力を活かして地域貢献！ 防災協働社会をつくりましょう。

「防災協働社会」とは、住民、企業、地域や行政が、「自助」「共助」「公助」の連携の下、社会全体で「減災」に取り組むことを言います。

防災協働社会での企業の役割



組織力を活かす

災害時に、企業の多彩な従業員マンパワーを、地域に向けて組織的に運用・提供し、地域を守る。

《組織力の例》

- 救助活動 ● 負傷者の搬送 ● 消火活動
- 物資の輸送 ● 避難所の支援 ● 炊き出し
- がれきの除去 ● 清掃



《事例》

災害活動応援協定

豊田合成株式会社 自動車部品製造業/森町

特別養護老人ホームが被災した場合、従業員が駆けつけて救助・消火活動をする協定を締結。所有の消防車や防災資機材での訓練により、自社及び施設の消防活動(後方支援)の体制を構築。

災害時の地域の救難拠点

静岡県石油業協同組合及び静岡県石油商業組合

「大規模災害時協力ガソリンスタンド登録制度」に登録している店舗は、災害時に防災用品の貸し出し、緊急車両への燃料供給、周辺住民の安否情報の掲示、一時的な緊急物資の保管等の支援を行なう。

資材力を活かす

日常の業務で使用している機材や資材、商品などを救助活動や救援物資、避難などに役立てる。

《資材力の例》

【救助活動】フォークリフト・重機・担架

【消火活動】ポンプ・貯水槽・バケツ

【運搬作業】トラック・バス・台車

【場所提供】一時避難場所・仮設トイレ設置場所

【物資提供】食料や水・医薬品・防寒用品



《事例》

自社の専門性を活かした物資の提供

株式会社もちひこ テントハウス製造業/静岡市

清水区由比地区連合自治会と協定を締結。災害時には、自社製品の大型仮設テントや防災テントを提供する。さらに自社で備蓄している飲料や毛布、簡易トイレなども支援物資とする予定。

地域密着を目指す取り組み

株式会社ミダック 廃棄物処理業/浜松市

自社内の井戸水や備蓄食糧及び資材を、地域住民の復興活動に提供。近隣の自主防災会等と「顔の見える関係」づくりとして、事業所を会場とした祭りなどの交流を運営。

技術力を活かす

企業が日常の業務で培った知識や技術を、災害時の対応に役立てる。

《技術力の例》

- 建築・土木技術者の派遣、重機等操作員の派遣
- 医師・看護師等、医療技術者の派遣
- 災害情報の収集
- 救援物資の緊急輸送体制への協力



《事例》

公共土木施設の早期復旧のための災害協定の締結

建設業関連団体

大規模災害等の公共土木施設の早期復旧のため、静岡県と応急業務に関する協定を締結。国の災害査定促進、国庫補助事業(国 2/3 負担)で早期復旧を目指す。

県指定防災機関としての取り組み

静岡県トラック協会

県指定防災機関として、大規模広域災害を想定した防災体制の確立や緊急輸送体制の強化を目的に、実践的な緊急輸送訓練を実施。また、災害救援物資の輸送に係る「緊急輸送出動指定事業所」の整備に取り組む。